

第 2 部

太田市の概況

(1) 太田市の現況

【面積】

総面積 175.54 km²

【位置】

東経 139°

北緯 36°

【人口】 (令和6年3月末)

人口 222,349 人

男 113,843 人

女 108,506 人

世帯数 101,831 世帯



市章

(平成17年6月28日告示)



マスコットキャラクター「おおたん」

(2) 市の特徴的な環境施策

太田市では全国的にも日照時間が長い特性を活かし、「太陽光発電推進のまちおおた」として、再生可能エネルギーの普及促進を施策として展開しています。

特に大きな事業としては、次のとおりです。

I) メガソーラー事業

「自分たちが使う電力は自分たちで作ろう」という電力の地産地消の観点から、メガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設計画がスタートし、平成24年から25年にかけて、3か所のメガソーラーの発電を開始しました。

現在は合計で4,941kWのメガソーラーが稼働しています。

年間発電量（令和5年度）

	単位	おおた太陽光発電所	おおた緑町太陽光発電所	おおた鶴生田町太陽光発電所
年間発電量	kWh	1,485,763	2,086,764	1,926,256
CO ₂ 削減量	t-CO ₂	679.0	953.7	880.3

※令和5年4月1日から令和6年3月31日までの発電量

※CO₂削減量は東京電力エナジーパートナー株式会社の基礎排出係数0.457kg-CO₂/kWhで換算

II) パルタウン城西の杜住宅団地

平成14年から平成20年まで、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「集中連携型太陽光発電システム実証研究」がパルタウン城西の杜で行われ、分譲777区画中553戸に太陽光発電システムが設置されました。

III) 太田市「COOL CHOICE」宣言

太田市では国が推奨する国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、市民や事業者と一丸となって地球温暖化対策に取り組むため、平成29年9月に太田市「COOL CHOICE」宣言を行いました。

「COOL CHOICE」とは、環境省が推進している温室効果ガス削減のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策となるあらゆる「賢い選択」を推進する国民運動です。



IV) 株式会社おおた電力との連携

「電力の地産地消」を推進するために、市が出資している市内電力会社である株式会社おおた電力が市内の卒F I T者から買取った電力を、市の公共施設等で利用しています。

V) 「2050年脱炭素社会の実現に向けて」の表明

2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すことを県内市町村では初となる令和2年1月7日に表明しました。

VI) 一市三町の協定によるCO₂フリー電力の利用

太田市、千代田町、大泉町及び邑楽町の一市三町が協定を締結し、太田市外三町広域清掃組合クリーンプラザで発電したCO₂フリー電力を域内の小中学校で利用しています。

(3) 市のあらまし

平成17年3月28日、太田市、尾島町、新田町及び藪塚本町の一市三町が新設合併して、新「太田市」が誕生し、現在に至っています。本市は群馬県南東部、東京から北西へ約86kmに位置しています。

東側は大泉町・邑楽町・栃木県足利市、西側は伊勢崎市、南側は埼玉県熊谷市・深谷市、北側は桐生市・みどり市に面しています。南は利根川、北は渡良瀬川が流れており、標高239mの金山と、八王子丘陵が北西部を走るほかは、概ね平坦地で、その標高は30mから110mの平坦部となっています。



・利根川

大水上山を水源とする一級河川で、太田市の南側を流れる。流域面積は日本最大である。

・渡良瀬川

利根川水系の一級河川で、太田市の北側を流れる。

・金山

太田市中心にある標高239mの独立峰。日本百名城の一つである金山城跡がある。

・八王子丘陵

太田市北部から桐生市、みどり市に広がる丘陵群で、長さ15km、幅5kmにわたって分布する。